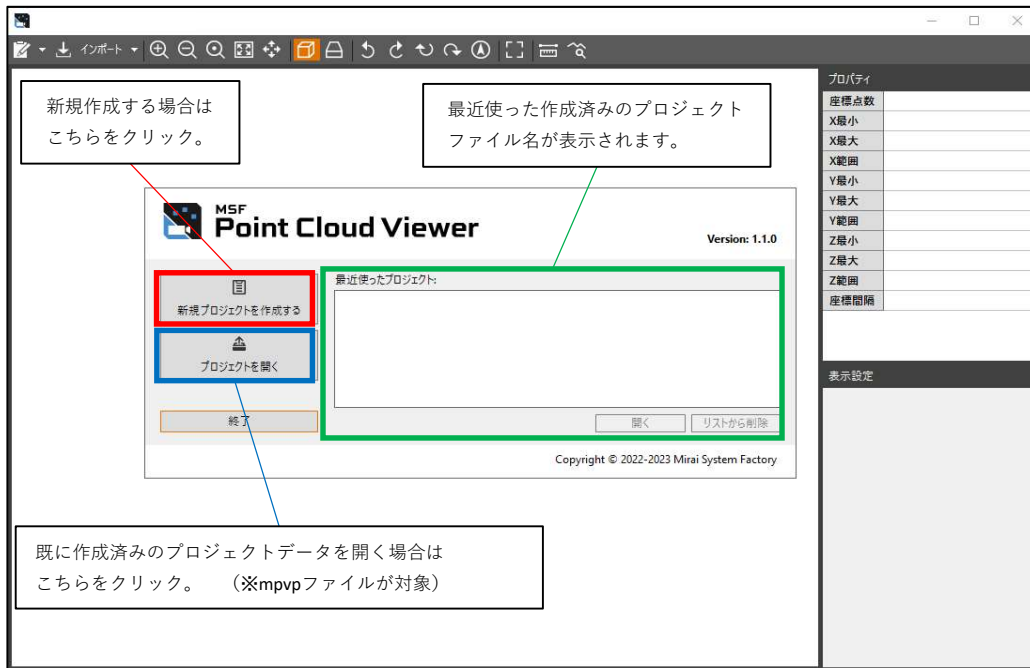
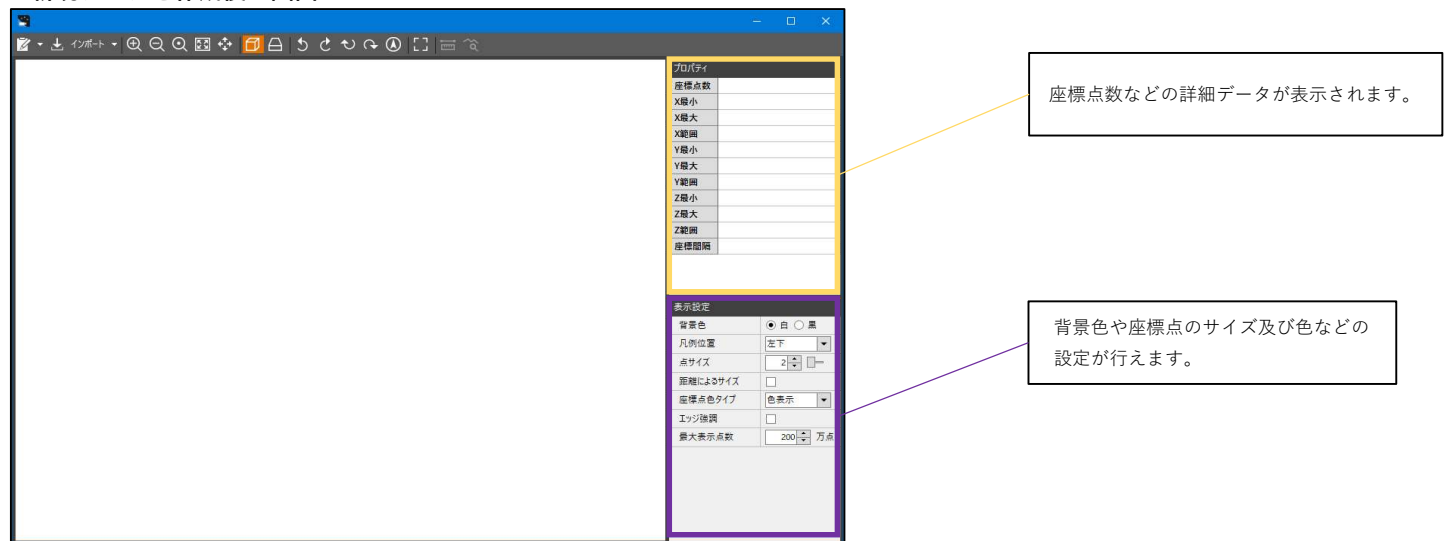


MSF Point Cloud Viewerについて

■起動直後の画面



■新規データを作成後の画面



■マウス操作

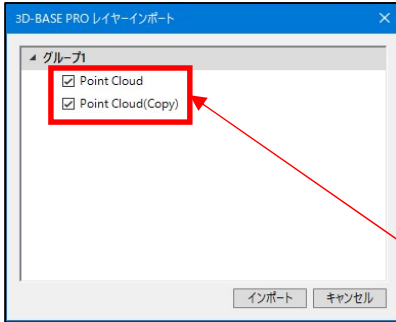
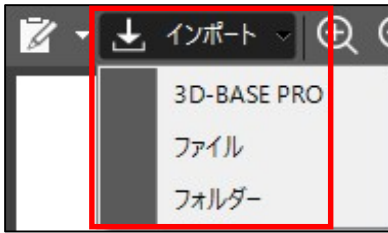
操作方法	説明
左クリック	コマンドの実行、表示データを回転
右クリック	コマンドのキャンセル、表示データを移動
マウスホイール上回転	表示データを拡大
マウスホイール上回転 + Ctrl	表示データを拡大（倍速）
マウスホイール下回転	表示データを縮小
マウスホイール下回転 + Ctrl	表示データを縮小（倍速）
マウスホイールドラッグ	表示データの回転
マウスホイールドラッグ + Ctrl	表示データを移動

■表示データの回転



- : 表示データを左に向ける
- : 表示データを右に向ける
- : 表示データを上に向ける
- : 表示データを下に向ける
- : 表示データの北を上にする

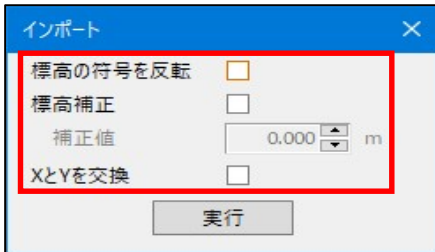
■データのインポート



- ・ファイル：各ファイルをインポートします。
(複数ファイルを指定可能)
※インポート可能なファイルは以下になります。
poi、txt、csv、las、e57、xml、sim、mpcd
- ・フォルダー：指定したフォルダー内のインポート可能なファイルをすべてインポートします。
- ・3D-BASEPRO：3D-BASEPROデータ(mbpfファイル)からインポートします。
※3D-BASEPROシステムで「作成した」座標点レイヤーの Point Cloudデータがインポート可能です。

座標点レイヤーが複数ある場合は、「インポートする」レイヤーを選択してください。

- ・ファイル及びフォルダーを選択した場合、インポートオプションが表示されます。



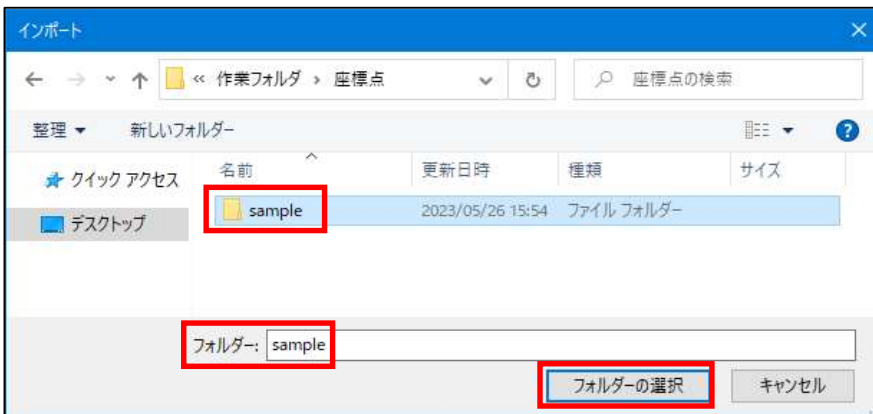
- ・標高の符号を反転：標高の高低を逆にすることができます。
- ・標高補正：チェックを付けた後に、枠内に入力した補正値で標高を補正(増減)できます。
- ・XとYを交換：各座標点のXとYの値を交換します。
※インポートしたファイルが測量座標か数学座標かで、
XとYの値が逆になる場合があるためそれらを修正する際に使用します。

- ・ファイルの場合



- ・ファイルの場合は、インポートする座標データを選択します。
(複数ファイルを指定可能)
データ選択後は「開く」をクリックして、
選択したファイルのインポートを実行します。

- ・フォルダーの場合



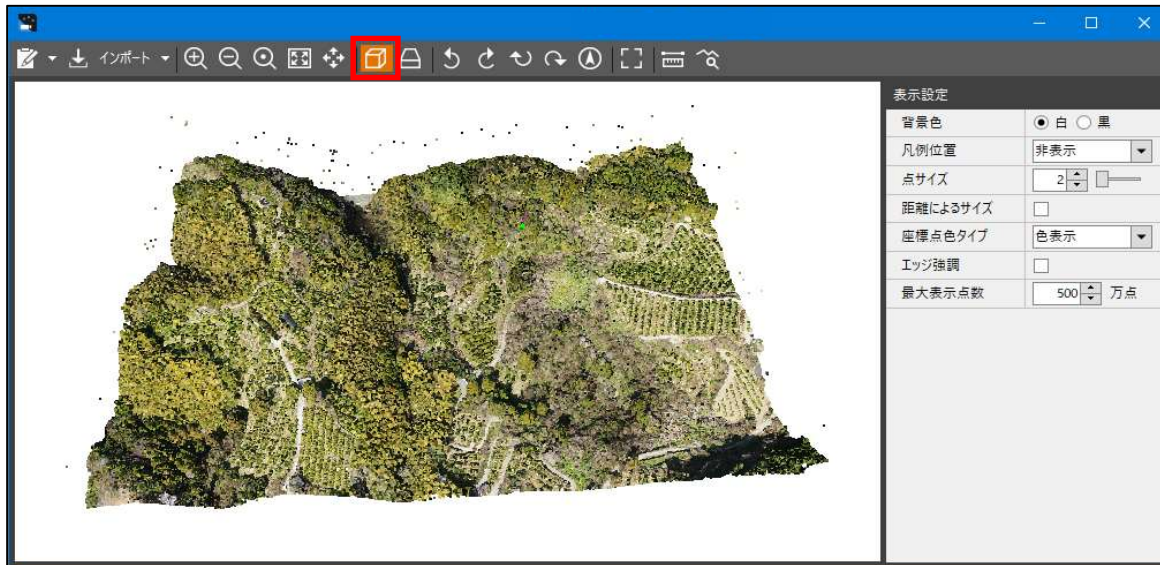
- ・フォルダーの場合は、座標データがあるフォルダーを選択します。
フォルダー選択後、「フォルダーの選択」をクリックします。

■インポート後の表示結果

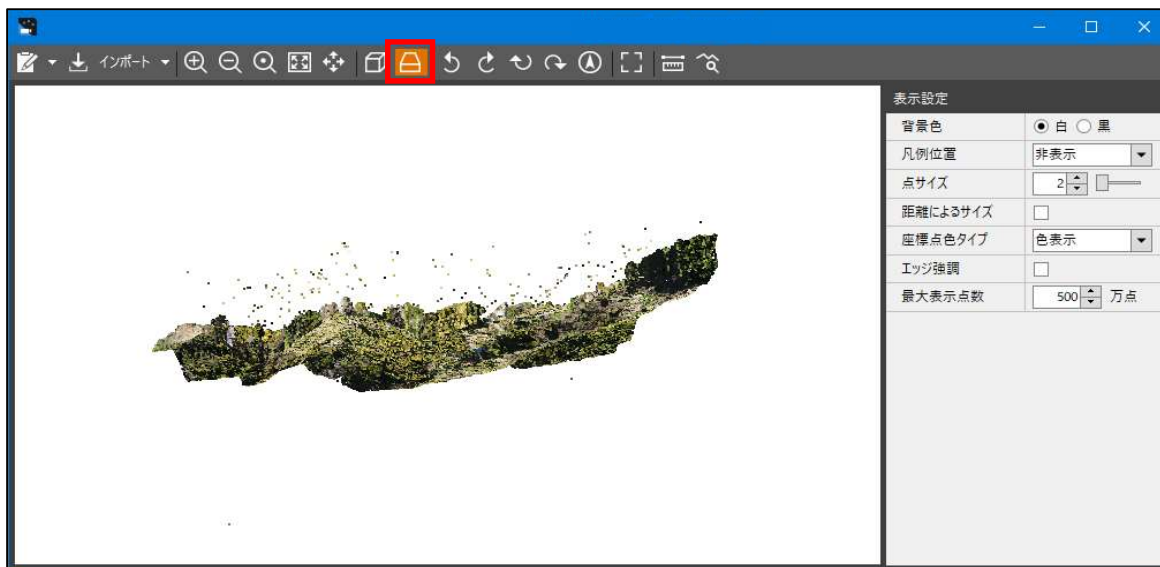
インポート後は座標点と表示設定のウィンドウが表示されます。

※表示形式は三次元ビューとバードビューのみです。

・三次元ビュー表示



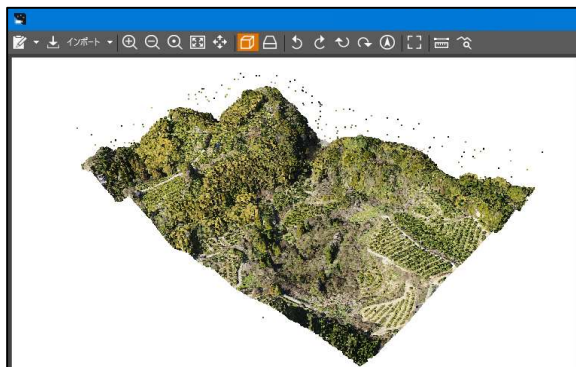
・バードビュー



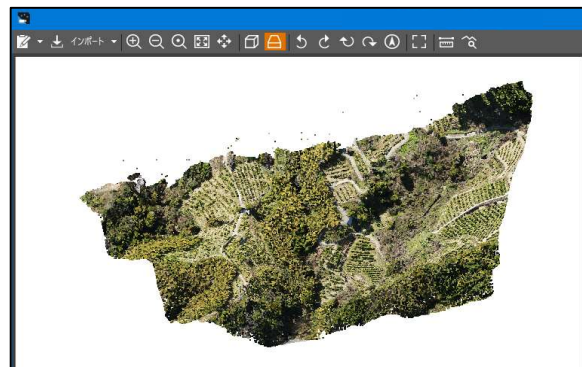
・マウスを操作することで、表示向きや角度を変更できます。

マウスの左ドラッグで向きや角度の変更、右ドラッグで移動が可能です。

・三次元ビュー



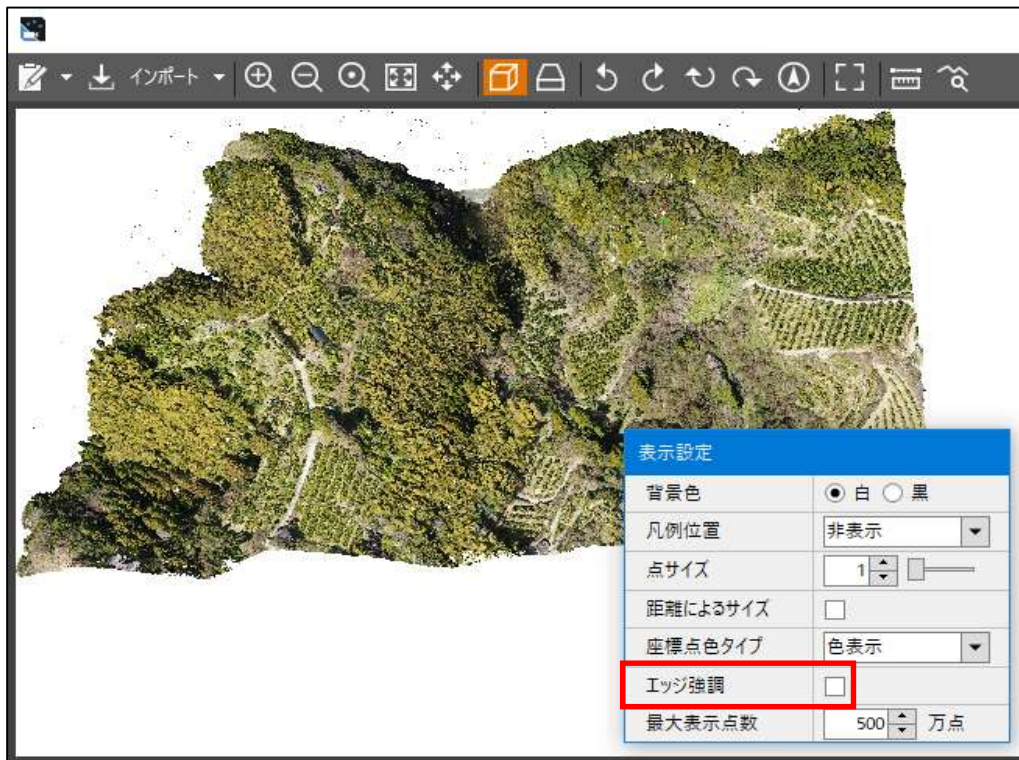
・バードビュー



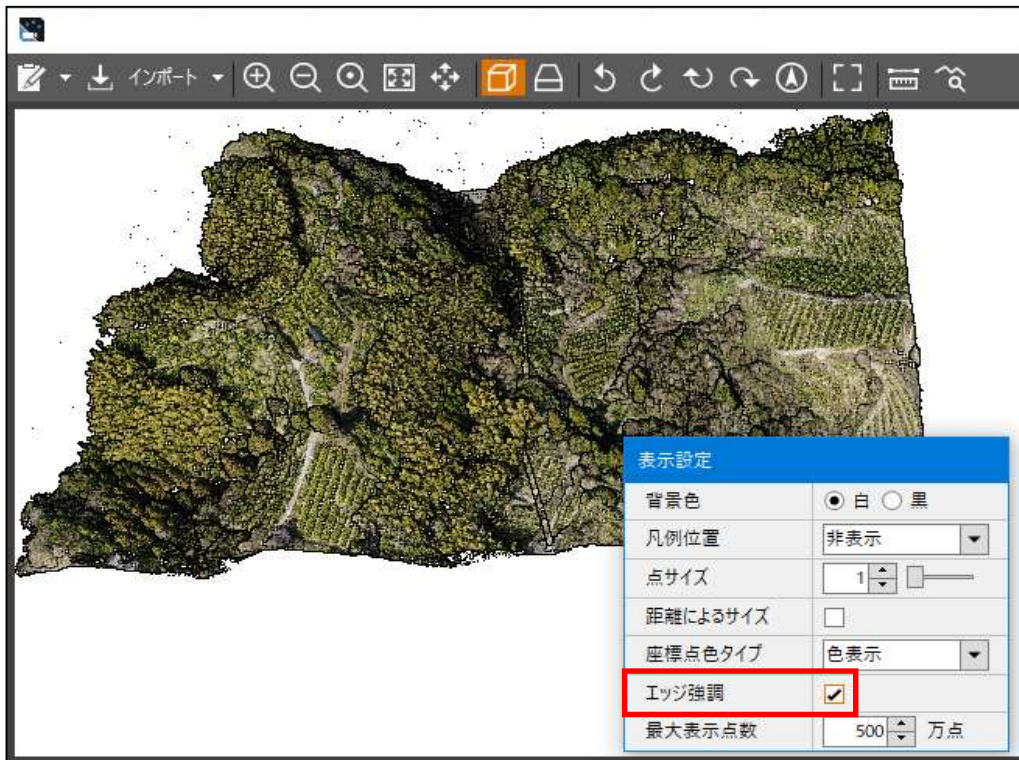
■エッジ強調の表示設定

- ・表示設定にある、「エッジ強調」にチェックを付けます。
座標点の縁が強調されてより立体的に見えるようになります。

エッジ強調のチェック前



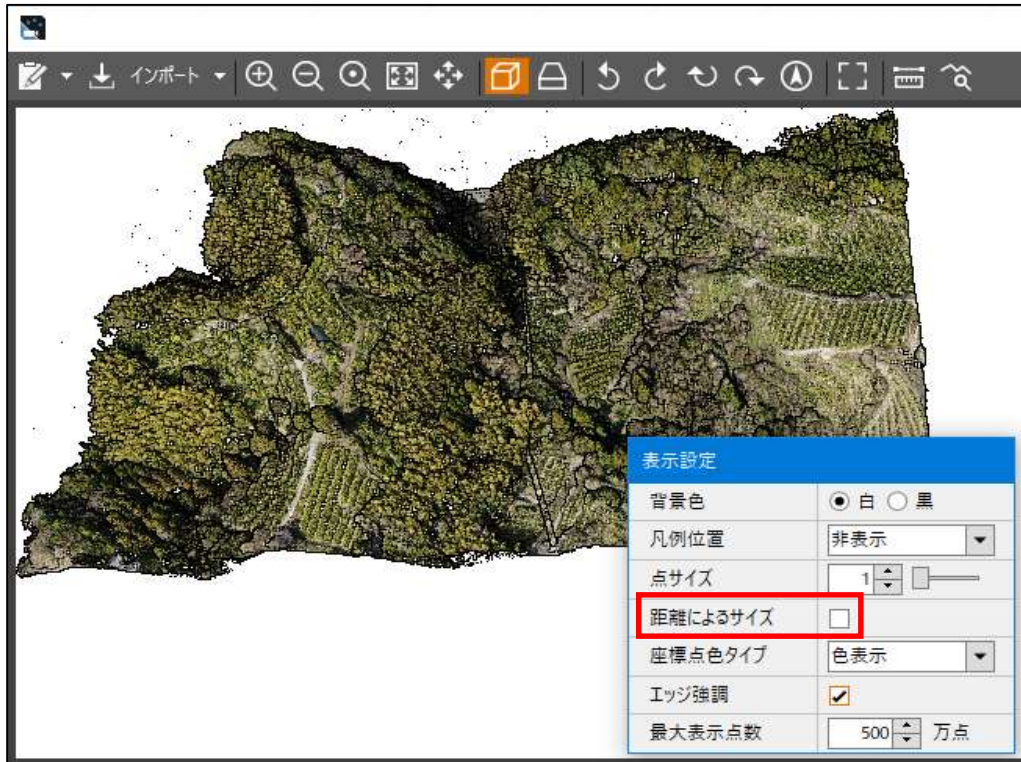
エッジ強調のチェック後



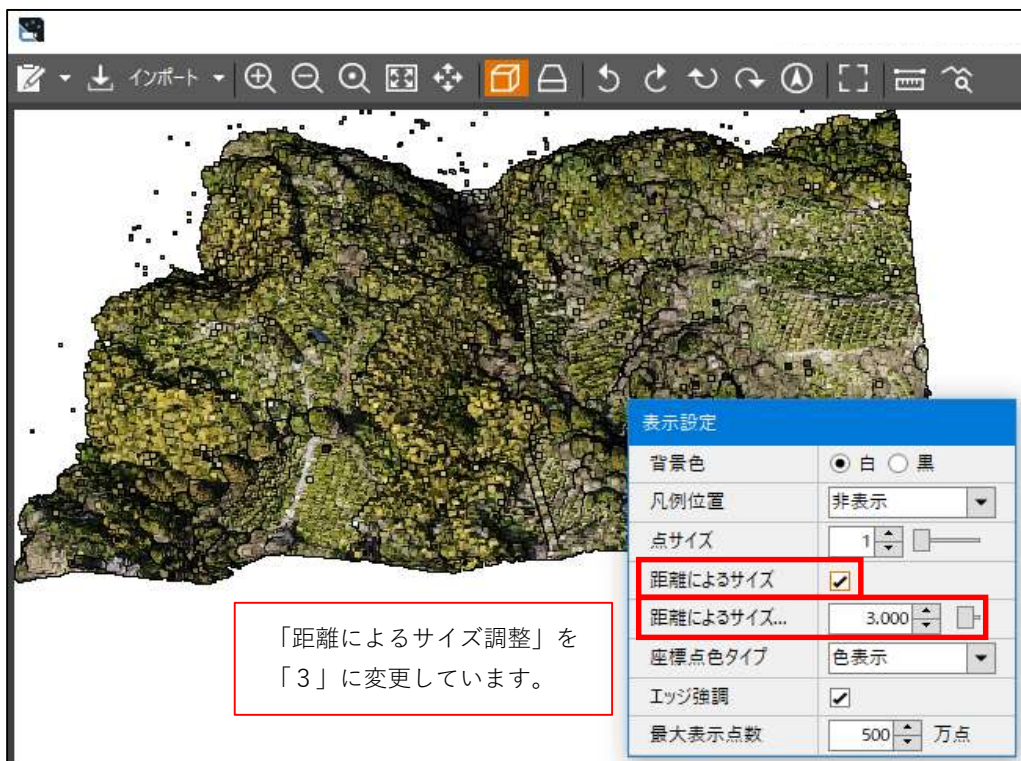
■点のサイズの表示設定

- ・座標点のサイズを変更する場合は「点サイズ」の数値を変更してください。
- ・表示設定にある「距離によるサイズ」にチェックを付けると表示描画を速くできます。
※手前にある座標点が大きく表示され、奥にある座標点は小さく表示されます。

距離によるサイズのチェック前



距離によるサイズのチェック後



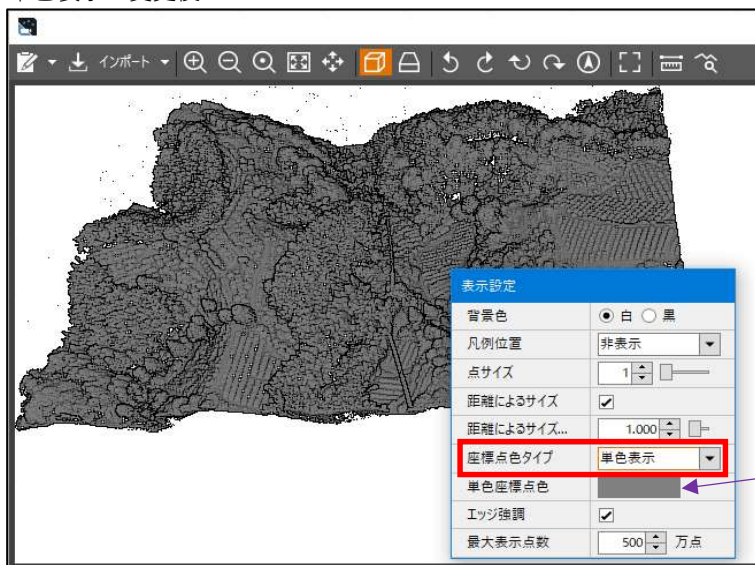
■座標点色タイプの変更

- ・「座標点色タイプ」を変更すると単色座標点色や高さ段彩色が変更できます。

変更前(色表示)



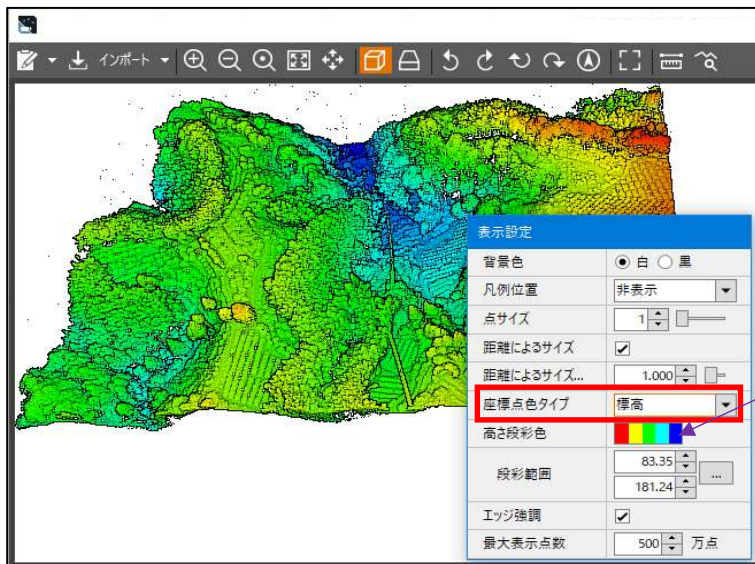
単色表示に変更後



単色表示での色は単色座標点色をクリックすることで任意設定可能



標高に変更後



標高での色は高さ段彩色をクリックすることで任意設定可能

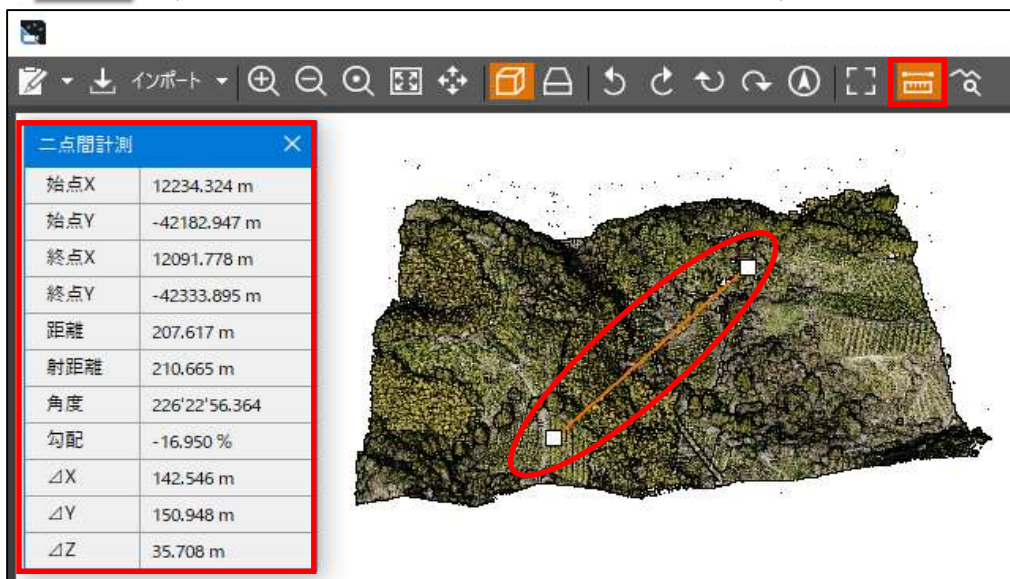


■二点間計測と断面確認について

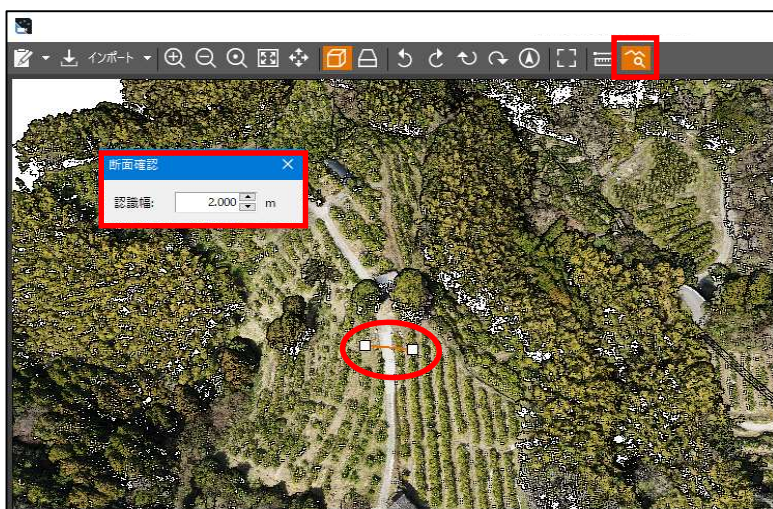
・下記のアイコンから二点間計測と断面確認が行えます。



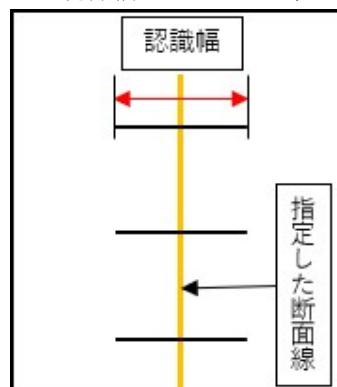
二点間計測をクリックし、始点と終点をクリックすると計測結果が表示されます。
(データ内のみクリック可能、データ外のクリックは不可)



断面確認をクリックし、認識幅を設定後に、始点と終点をクリックすると点群の断面図を表示します。



・認識幅は指定した断面線の中心から指定値の半分の距離です。
※認識幅が2mであれば、左右1mになります。



認識幅を変更することで断面位置の点群表示数を変更できます。



■断面確認の表示設定

断面確認のウィンドウの表示設定から、標高縮尺・点や線の設定が変更できます。



表示設定の「線接続」にチェックをつけると

断面の座標点を線で接続し、より断面の凹凸がわかるようになります。

線接続前



線接続後

